

令和7年度 保育者の自己評価のためのチェックリスト

園名：若宮こども園

氏名 _____

A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない

1、保育の理念

1	全ての子どもについて、一人ひとりの存在と人権を尊重していますか	
2	乳幼児期の教育・保育は、子どもの生涯の基礎を培う大切な役割を担っていると認識していますか	
3	個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことのないようにしていますか	

A (68.5%) B (31.4%) C (0%) D (0%)

2、「ねらい」及び「内容」

※ 現在のクラスで記入する。フリーはどちらかで記入する

4 健康	未：健康・安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つように意識して保育していますか 以：健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しを持って行動するように意識して教育・保育していますか	
5 人間関係	未：園での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じられる関わりをしていますか 以：園での生活を楽しみ、身近な人と親しみ、関わりを深め、一緒に活動する楽しさを味わえるような関わりをしていますか	
6 環境	未：見る・聞く・触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする機会を設けていますか 以：身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする機会を設けていますか	
7 言葉	子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育していますか	

8 表現	未：身体の所感覚の経験を通して、イメージや感覚を味わう体験・経験をしていますか	
	以：生活の中でさまざまな音・形・色・手触り・動きなどに気づいたり、感じたりするなどして楽しんでいますか	

A (35.6%) B (57.1%) C (6.3%) D (0%)

3、特別な配慮や支援を必要とする子ども（障がい児）の保育

9	支援が必要な子どもの教育・保育について、専門機関と連携をはかったり、子どもに合わせた個別支援計画を立てていますか	
10	支援が必要な子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるよう努めていますか	
11	障がいを持つ子どもそうでない子ども「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして教育・保育し、楽しく交流できる雰囲気づくりをしていますか	

A (20.2%) B (49.5%) C (21.2%) D (9.1%)

4、主体性・環境づくり

12	子どもの姿を見て理解し、興味関心に応じた教育・保育をおこなっていますか	
13	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っていますか	
14	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がありますか	
15	子どもが主体的・自発的に生活と遊びができる環境を整備していますか	

A (31.4%) B (59.2%) C (9.3%) D (0%)

5、保護者対応

16	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築き、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことができますか	
17	保護者等からの相談に応じる体制がありますか	

A (28%) B (60.2%) C (8.8%) D (3%)

6、不適切保育

18	不適切な保育について理解し、不適切な関わりをなくすように努めていますか	
19	子ども一人ひとりにわかりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか	
20	2025年10月から施行された改正児童福祉法では、保育所等の職員による虐待に関する通報義務が創設されたことを知っていますか	

A (46.6%) B (46.6%) C (6.7%) D (0%)

7、防災・不審者・事故防止

21	地震等の災害や火災に備え、避難訓練等に参加し、非常災害時に何をしなければならぬか理解していますか	
22	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけていますか	
23	乳幼児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、掛布団、呼吸等の確認をしていますか	
24	床に誤飲しそうなものが落ちていないように、十分注意を払っていますか	
25	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について理解し、いつも確認していますか	

A (59%) B (38.2%) C (2.8%) D (0%)

8、保育者同士の関わり

※経験年齢の枠で答えてください

経験 1 〜 3 年	子どもとのスキンシップを大切にしながら、笑顔で接するよう心がけていますか	
	分からないことはその日のうちに質問するようにしていますか	
経験 4 〜	教育・保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか	
	後輩の見本となるような行動を心がけていますか	
経験 10 年 〜	自分の教育・保育を見つめなおし、保育の質を向上させるように努めていますか	
	同僚の良いところを探し、温かい雰囲気のある園になるよう心がけていますか	

10年以上 A (30.7%) B (59.6%) C (9.6%) D (0%)
 4〜9年以上 A (10.0%) B (70.0%) C (20.0%) D (0%)
 1〜3年以上 A (75.0%) B (25.0%) C (0%) D (0%)

《 保育者の自己評価をまとめた所の感 》

去年からの数値をみると、全体的に「Aのかなりできている」の数値が高くなっていた。

1番振り返りが多かったのは、職員間でのコミュニケーションについてだった。短い時間でも話ができる時間を取り、悪いところではなく良いところを見つけ、よりよくしていこうと意識している人が多かった。職員同士のコミュニケーションが大切なのだが、なかなか話し合う時間が取れない。相手と話すときは言葉を選んで話すことにも気をつけていきたい。

防災、不審者対応の難しさも感じている職員がいた。子どもを守りぬくことができるのか考えるとその時の状況で臨機応変に対応することが求められる。訓練を通しながら、職員同士の連携が大切だと感じた。

年齢ごとの主体的活動、子どもとの関わりを考えながら試行錯誤しながらも子ども1人ひとりにならった声掛けを意識して保育をしている様子がうかがえた。

環境の落ち着ける場所が「A」・「C」の保育者があり、各クラスで工夫しているのかもしれないが、取り方によって違いがあると思った。

気になる子どもが多いため、対応などに苦慮している。定期的な面談も行っているので、園と家庭との情報を共有しながら子どもにとって過ごしやすい環境を整えられるようにしていきたい。

保護者とのコミュニケーションに悩む保育者が多く、コミュニケーションが取りにくい保護者への対応が難しいと感じる保育者が多かった。日々の挨拶から、何気ない話を通して子どもの成長を伝えながら、少しずつでもコミュニケーションが取れていけばよいと思う。

新人を育てる難しさを感じている。自分たちの頃とは違い、指導する側が言葉での伝え方を気をつけていかなければならないと思う。

「改正児童福祉法で、保育所等の職員による虐待に関する通報義務が設立されたこと」を職員会などで何回か知らせているが、全員Aではなかったもので、全員周知をしていきたい。